

※県政記者クラブ加入各社のうち、静岡市内の支局に FAX 送信しています [送信 1 枚]

提供日 2020/1/17

タイトル グローバル地域センター 国際シンポジウム「清水港と寧波港の歴史と未来-近代東アジアの港湾都市ネットワーク-」を開催

担 当 静岡県公立大学法人 静岡県立大学
グローバル地域センター

発信担当者 054-245-5600



静岡県立大学記者提供資料

**清水港開港 120 周年記念シンポジウム「清水港と寧波港の歴史と未来
-近代東アジアの港湾都市ネットワーク-」を開催します
【同日開催】シンポジウム「清水港とお茶と自転車の不思議な関係」**

静岡県立大学グローバル地域センターでは、標記シンポジウムを開催します。

なお、このシンポジウムは清水港開港 120 周年記念事業実行委員会と共催で企画しており、同日の午後には、同会場で、シンポジウム「清水港とお茶と自転車の不思議な関係」を開催いたします。

報道機関の皆様におかれましては、**募集告知及び当日の取材に御協力をお願いします。**

1 趣 旨

当センターが進めている「21 世紀アジアのグローバル・ネットワーク構築と静岡県の新たな役割」に関する調査研究事業の一環として、浙江省寧波大学と共に「清水港と寧波港の歴史比較」を行うことで、グローバルな視点から今後の両港の発展と地域間交流の深化の可能性を探り、両者の往来の歴史と未来を考えます。

2 日 時 令和 2 年 2 月 1 日 (土) 10:00~12:20 (開場: 9:30)

3 会 場 清水文化会館マリナート 小ホール (静岡市清水区島崎町 2 1 4)

4 プログラム (敬称略)

項 目	内 容
開会あいさつ	静岡県立大学 学長 鬼頭 宏
趣旨説明	「清水港と寧波港の歴史と未来」 グローバル地域センター センター長 濱下 武志
基調講演	「近代寧波の港湾と都市」(逐次通訳) 寧波大学人文与伝媒学院特聘院長 教授 <small>キョウ エイアン</small> 龔 纓晏
講 演	「開港前後の清水港 ~河川港から海港へ・波止場から埠頭へ~」 清水海上保安部長 田中 裕二
パネルディスカッション	コーディネーター: センター長 濱下 武志

5 参加者 定員 150 人 (参加料無料・要事前申込)

6 同日開催 13 時 30 分から、清水港開港 120 周年記念シンポジウム「清水港とお茶と自転車の不思議な関係」を開催いたします。詳しくは別添のちらしをご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 3-6-1 もくせい会館 2 階

静岡県立大学グローバル地域センター

電話 054-245-5600、FAX 054-245-5603

メールアドレス glc (ここに@を入れる) u-shizuoka-ken.ac.jp